



函中だより

雄々しく 気高く

学校教育目標

夢や希望の実現に向けて 共に高め合う生徒

函南町立函南中学校
令和2年8月3日発行
文責 若月 哲也

若い世代へ

校長 久保田 浩子

蝉の声に夏の到来を感じる時節となりました。急な雨音に驚き、新型コロナウイルス感染状況の報道に一喜一憂した1学期でした。

新型コロナウイルスの感染症予防対策として「新しい生活様式」による衛生指導と生徒の心に寄り添うことを要として養護教諭を中心に取り組んできました。生徒の笑顔やしなやかな心遣い、授業中の取り組みにほっとし、学校生活1日1日に感謝しながら過ごしてきました。



7.10 定期テスト（3年生）

学校にとっては失われた3ヶ月でしたが、多くの生徒にとっては決して「失われた時間」ではなかったことを実感しています。どの学年も、3ヶ月の学校ブランクを感じさせない活動ぶりでした。

特に3年生は、中学校生活最後の年となります。大人でさえも戸惑う毎日。不安や焦りもあるうかと思いますが、一人ひとりが気持ちをコントロールし、落ち着いた態度で明るく前向きに過ごしていました。改めて、3年生の成長と頼もしさを感じています。さらに、「フレンドリーマッチ」「田方地区音楽祭」が行われ、3年生にとっては節目となる試合や演奏会となりました。どの部活動も限られた練習期間でしたが、多くの活躍が見られました。どの部長も「仲間と一緒に頑張れたことがうれしかった。感謝です。」と異口同音に語ってくれました。

ところで、新聞や様々な報道では、「アフターコロナ」という言葉が早くも飛び出し、その後の生活について論じられています。ある新聞のコラムでは次のように綴られていました。

「若い人たちには、コロナ危機の経験から、教科書では学べない多くのことを吸収し考えてほしい。今元気であることの大切さ。変わらぬ伝統や記憶を受け継いで次の世代に伝えることの重要性。将来悲しく辛いことが起きても、『強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。』（旧約聖書「ヨシュア記」）と古代の人が若者を励ましていること。」と。

そして、筆者は次のように結んでいます。

「コロナが原因であってもなくても先に逝く我々には、コロナ以後の社会を担う若い世代に、希望と勇気と力を与える責任がある。」と。

迷いながら不安ながらも、今を懸命に生きる大人の姿を微力ながら示していくことを心に留めた言葉でした。

例年とは異なる1学期でしたが、保護者・地域の皆様の支えのおかげで無事終了を迎えることができました。ありがとうございました。

3年生に部活動集大成の場を～フレンドリーマッチ&音楽祭、無事終了!～

7月23日(木)から25日(土)までの3日間、田方地区中学校フレンドリーマッチが開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった中体連夏季大会の代替大会として、田方地区の中学校を会場に8種目12競技が行われました。(柔道部は、密接が避けられない競技の特性に加え、本格的な練習ができる状況ではないため、代替大会の開催はありませんでした)3年生の保護者の皆様には、役員という形で大会運営のサポートをお願いしました。急な要請に加えて準備が行き届かないところもあり、ご面倒をおかけいたしました。ご協力をいただきました保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。



さて、今大会は「フレンドリーマッチ」の名称のとおり、同じスポーツを愛する仲間との交流を目的として行われました。上の大会も、表彰ありません。しかしながら、どの会場でも中体連さんからの白熱した試合が行われ、部活動の集大成として努力の成果を発揮することができました。

また、8月1日(土)には、アクシスかつらぎを会場に田方地区中学校音楽祭が開催されました。各種コンクールや発表会の中止が相次ぐ中、文化部にも発表の機会をつくろうと計画され、本校から吹奏楽部と箏曲部が参加しました。発表時間の短縮や観客の入場制限等、最大限の感染防止策を講じる中での実施となりましたが、一体感のある美しい演奏を会場いっぱい響かせ、聴衆を魅了しました。今後、陸上競技部については、8月8日(土)・9日(日)に愛鷹広域公園多目的競技場にて東部中学校陸上競技大会が開催されます。また、美術部は、蒼龍祭文化の部での展示発表を予定しています。



このイベントをもって、3年生の多くが部活動を引退し、勉強にシフトすることになります。部活動で培った精神力や集中力を存分に発揮し、進路の問題に誠実に向き合ってほしいと思います。

親子で振り返りを!

8日(土)から、わずか16日間の短い夏休みが始まります。保護者の皆様には、節目となるこの時期に、ぜひお子様のがんばりを評価してあげてほしいと思います。小さなことでも構いません。お子様が「変わったな」「成長したな」と思うことを、素直に言葉にしてあげてください。子どもの変化や成長を見ようとする眼は、とても大切です。テスト結果や通知表のように数字で評価できるものもあれば、数値には表われない内面の成長もあります。充実した「夏」にするために、親子で振り返る時間をぜひ設けてみてください。決してお世辞ではなく、本音で!

いつもと違う夏休み…どう過ごす?

夏休みは、お子様が家庭で過ごす時間が長くなります。この機会に家事や読書など、日ごろ時間がなくてできないことにぜひ挑戦させてください。また、物騒な事件や事故が多いこのごろです。安心・安全な生活が遅れますよう十分にご配慮ください。

新型コロナウイルスの感染拡大により、「新しい生活様式」が求められています。情報は刻々と変化しており、いつもと違う夏休みになります。ご家庭におかれましても、夏休みの生活様式について、話題にしていただければ幸いです。

「外出時は、マスク着用」「人混みは、なるべく避けて」「帰宅したら、しっかり手洗い」

「エアコン使用時も、しっかり換気」「家族で、朝の検温」「不要不急の外出は、できるだけ控えて」など